



はちみつ市場の現状と 弊社はちみつのご紹介





2016年、シンガポールで
小さな蜂の巣箱から始まった
養蜂家との出会い。

「自分の子どもにも食べさせたい」と思える
“本物のはちみつ”を求めて
取り組んで参りました。

ミツバチの命と調和し、
無理のない採蜜を徹底してきた背景の中、

商業的な「オーガニック認証」に頼らず、
“本当に安全であること”を追求してきた歩みを
ご紹介いたします。

目次

- 【ご提案の概要】 (P.2)
- 【市場分析】 (P.3~6)
 - ↳ オーガニック食品の現状
 - ↳ 国内のはちみつ生産量・輸入量・消費量
 - ↳ 国産ハチミツの安全基準の違い
- 【採蜜ポリシー・安全性と品質基準】 (P.6~13)
- 【取扱ブランド】 (P.14~15)
- 【マーケティング戦略】 (P.15~24)
 - ・ セルフヘルスケア市場
 - ↳ 健康食品市場
 - ↳ リカバリー（休養・抗疲労）市場
 - ・ 販売サポート
- 【ご試食】



◆提案の目的

本提案書は、貴社の小売店舗において弊社の**高品質なはちみつ**を取り扱っていただくための具体的な提案を提供することを目的としています。

◆背景情報

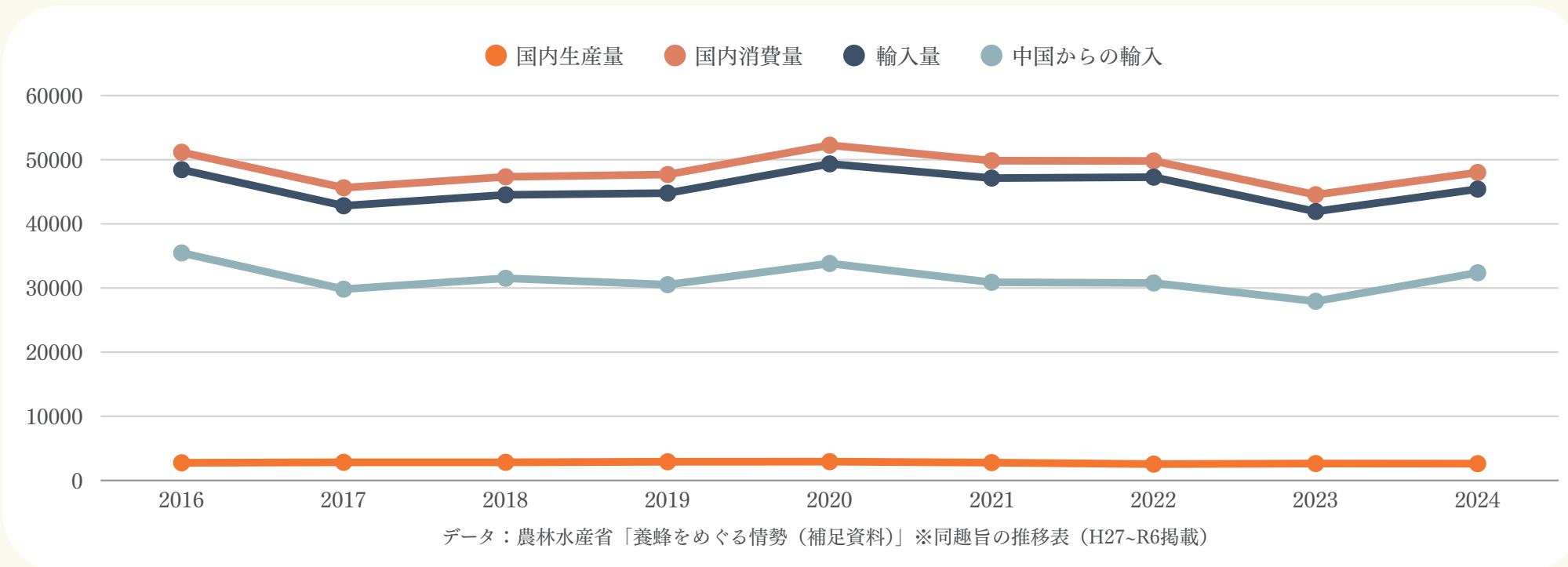
近年、**消費者の健康志向の高まり**とともに**はちみつ**の需要が急速に増加しています。この市場動向を受けて、弊社ではさらに高品質な**はちみつ**を提供することで、小売業者様の**売上向上に寄与**できると考えております。

◆提案内容の要約

本提案書では、弊社の**はちみつ**製品の特長、競争優位性、市場分析、価格設定、マーケティング戦略、そして販売サポートの詳細についてご説明いたします。

市場分析





- 消費は増加基調
- 供給は輸入依存
- 輸入の約7割は中国

- ①：国内消費量は「4万トン台→5万トン台」規模へ（中長期で拡大）
- ②：輸入量が圧倒的に多い（国内供給は輸入で成り立っている）
- ③：国内生産量は「数千トン」にとどまり、非常に少ない
- ④：輸入の約7割は中国から輸入されている

輸入依存市場だからこそ、差別化するには、「品質保証」と「トレーサビリティ」が重要。

①市場：日本での関心・需要は“回復～拡大”傾向

生活調査（※1）（11,817人）では
認知：約65%（食経験 約20%+知っているが未経験 約45%）

→ **すでに“市場として成立する認知母数”がある**

国連貿易統計データベースを基にした、
ワールドバンクデータでは（右チャート）
2022年～2024年でマヌカの日本への輸入量・金額ともに増加。

→ **店頭でも“伸びるカテゴリ”として取組む価値が高い**

（※2）本資料ではNZ→日本のはちみつフローを、需要トレンド把握の近似指標として提示。

②課題：需要増の一方で「偽物・表示違反」リスクが顕在化

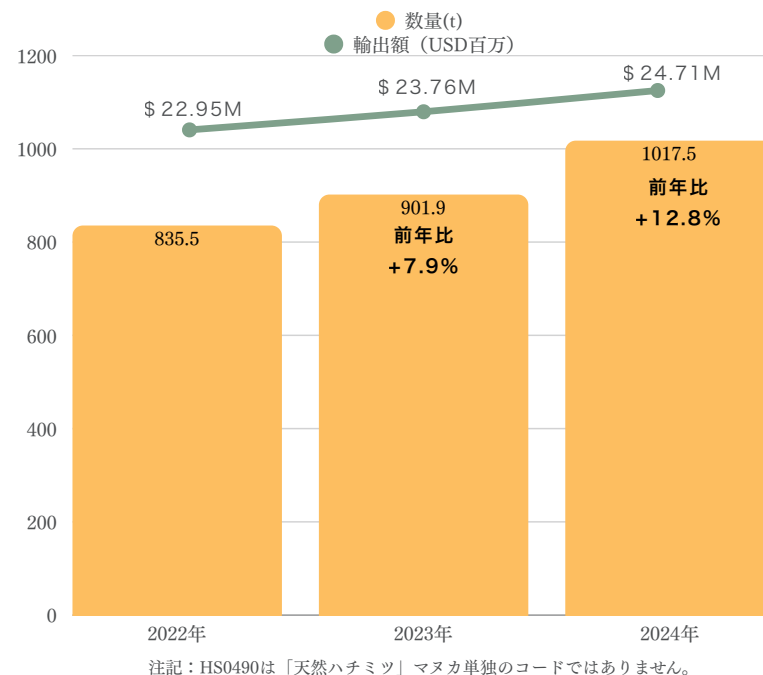
市場拡大に伴い、表示違反が続出し問題化。
業界が信頼確保に動いている旨の報道。

→ **今は「値段」よりも、“確かな品質が担保されているか”
が、取引条件になりやすい局面**

（※1）PR TIMES（マヌカハニーに関するアンケート調査）

（※2）WITS（World Bank-UN Comtradeベース（NZ→日本）、natural honey /HS040900）

コロナ後直近3年で数量・金額ともに増加



「コロナ時代の免疫効果」で需要伸びる高級ハチミツ・マヌカハニー 浮上した偽物問題に自主規制で対処

2020/12/11 05:58

上妻英夫 (KIプレス)

📌 クリップ 📄 シェアする 36 ✖️ ポスト

「世界で最も高級なハチミツ」「ハチミツの王様」として知られるマヌカハニーの市場拡大が続いている。コロナ禍で、抗菌作用を持つマヌカハニーへの消費者ニーズが高まっていることに起因している。このマヌカハニーで、表示違反が続出して問題になっており、業界は不適当な商品を規制することで消費者の信頼獲得に動いている。マヌカハニーを巡る新たな動きをレポートする。

輸入ハチミツ

輸入のたびに検疫所に届出が必要。検疫所で審査し、必要に応じて、モニタリング検査や検査命令が実施される。

=国内流通する前に、“水際”での届出・審査・モニタリング検査という仕組み。

国産ハチミツ

基本的に、事業者の自主管理で運用（一次責任）それに加え、自治体が市場等で収去（抜き取り）して検査

検査項目は存在するが、その枠内で安全性が確定されているハチミツが流通しているとは限らない。

区分	主な入り口	チェックの中心	特徴
輸入食品（輸入ハチミツなど）	検疫所への届出	審査+モニタリング検査+検査命令	水際の仕組みがある
国内流通（国産ハチミツなど）	国境なし	自主管理+自治体の収去検査（抜き取り）	全ロットではない



一概に、「国産は輸入品よりも安全である」とは言えない。

弊社はちみつのポリシー
安全性と品質基準





「私たちの採蜜のポリシー」

私たちは“採る”のではなく、
“分けてもらっている”という考えで
蜂蜜を扱います。

蜂蜜はミツバチにとって大事な食料です。

養蜂家との信頼関係を構築し、
利益の為の過度な採蜜や、
ミツバチへの過度な介入を行わせません。
(人工シロップを与える・抗生剤の投与 など)

また、巣箱まわりの自然環境への投資も
(花を植える・農薬ゼロ地帯の確保 など)
積極的に行い、

ミツバチと人間が共存できる環境作りを
目指しています。

現在、食品衛生法には、ハチミツは92の成分について、
残留基準値が設定されていますが…。

品目名	基準値(ppm)
アシノナビル	0.05
アセタミプリド	0.2
アミスルブロム	0.05
アミトラズ	0.2
アメトクトラジン	0.05
アンピシリン	0.05
イソキサチブ	0.05
イソキサチブ	0.05
イマザリル	0.05
エトキサリル	0.05
エマキサリル	0.05
エンキサリル	0.05
エンキサリル	0.05
オキサリル	0.05
オキシテトラサイクリン	0.3
カスガマイシン	0.05
カンタキサンチン	0.1
キザロホップエチル及びキザロホップPテフリル	0.05
キザロホップPテフリル(再掲/キザロホップエチル及びキザロホップPテフリル)	0.05
グリカルピラミド	0.03
グリホサート	0.05
クレンブテロール	N.D.
クロラントラニリブロール	0.05
クロルデン	0.002
クロルフルアズロン	0.05
クロルマジノン	0.002
酢酸トレンボロン	N.D.



「違反かどうか」を判断するための法規制上の基準
基準 = “残留がゼロ”を意味するわけではない

体内に残りやすく、認知症や癌などの
リスクが指摘されている、
ネオニコチノイド系農薬の一つ。
EUの基準値0.05ppmの4倍の数値が
設定されている。



需要拡大とともに品質が求められる中で、
国の基準値“だけ”に依存しません。
当社は、第三者機関に全ロット検査を依頼。
「品質保証」×「ロット単位での確認」により、
“安心して選べるハチミツ”を提供しています。

ミツバチの行動範囲



ハチミツは花蜜だけでなく、ミツバチが集める、水分や花粉などを経て作られます。つまり、空気・水・土壌・植物といった環境の影響を“まとめて”受けやすい性質を持っています。

だから私たちは、ハチミツが採れる環境がクリーンかを、巣箱から6km圏内で必ず確認します。

巣箱から6km圏内の

- ✓ 植物の種類把握
- ✓ 農薬散布の畑がないか
- ✓ 大気汚染（黄砂）環境はないか
- ✓ 人の立ち入りやゴミの投棄はないか
- ✓ 川沿いの上流に工場等の施設はないか
- ✓ 車の往来はないか

などを必ずチェックしています。

『高品質な蜂蜜。徹底した品質管理と5つのお約束』

①

第三者機関による、成分分析を**全ロット**で実施

↳「基準値」ではなく「検出されない水準」を満たすハチミツだけを輸入

②

グリホサート・ネオニコチノイド系の農薬、抗生剤の**定量限界未満を保証**

↳ミツバチの生活圏6kmに農薬を散布された畑がないかもチェック

③

大気・水源汚染の可能性のある土地での蜂蜜は取り扱わない

↳黄砂被害や河川の上流に工場がないかも確認

④

非加熱処理ではちみつ**本来の栄養と風味を保持**

↳不純物を取り除くために、熱を加えて粘度を下げる等の処理を行わない

⑤

土地と植物の環境、採蜜方法、瓶詰め方法、検査結果の品質の維持

↳取引先と密にコミュニケーションをとり厳守いただく。**約束が守れない場合は取引停止**

オーガニック認証 = 本当に安全か？

オーガニック認証基準一覧

	日本 (有機JAS)	アメリカ (USDA)	EU (EU organic)	ドイツ (Demeter)	ベルギー (NATRUE)	フランス (ECOCERT)
定義	化学農薬・化学肥料不使用、3年以上の転換期間、自然環境への配慮	自然環境保全を基本とし、化学物質不使用、土壌の健康維持	生態系の保護を基本とし、化学合成農薬・肥料の使用を禁止	バイオダイナミック農法に基づき、自然と宇宙のリズムを考慮	自然化粧品向けの厳格な基準、合成成分不使用	食品・化粧品・テキスタイルなど幅広い製品に適用
認証機関	農林水産省 (MAFF) 認定の第三者機関	米国農務省 (USDA) 認定の第三者機関	EU認定の第三者機関	デメター協会 (国際的な独立機関)	NATRUE認証機関	エコサート
農産物基準	3年以上化学農薬・化学肥料を使用しない土地で栽培、遺伝子組み換え禁止	3年以上化学農薬・化学肥料不使用、GMO禁止、土壌の健康維持	2年以上無農薬、化学肥料・GMO禁止	化学農薬・化学肥料禁止、土壌の活性化を重視	対象外	3年以上化学農薬・化学肥料不使用、GMO禁止
加工食品基準	有機原料95%以上、合成添加物の使用制限	有機原料95%以上、添加物制限	有機原料95%以上、合成添加物制限	有機原料100%、生態系への影響を考慮	100%天然由来、化学合成成分禁止	天然由来成分95%以上、環境配慮が必須
動物福祉	放牧推奨、一部規定あり	放牧義務、抗生物質・成長ホルモン禁止	放牧義務、動物福祉の厳格な規定あり	放牧義務、動物福祉の厳格な規定	対象外	放牧推奨、一部規定あり
禁止事項	遺伝子組み換え (GMO) 化学合成農薬、化学肥料、放射線照射	GMO、化学農薬、合成肥料、抗生物質	GMO、化学農薬、化学肥料、抗生物質	GMO、化学農薬、化学肥料、人工添加物	合成香料、合成着色料、シリコン、GMO	GMO、化学農薬、合成肥料、合成添加物
持続可能性	土壌の健康維持、輪作・堆肥利用、生物多様性の保護	生態系保全、土壌の自然再生、持続可能な農業	環境保護、生物多様性の維持、持続可能な農業	宇宙や生態系のリズムに基づいた農業、土壌の自然回復	天然由来成分の割合を厳格に規定、抽出方法も管理	製造プロセスの環境負荷を厳しく制限
表示規制	有機JAS認証なしでは「有機」「オーガニック」と表示不可	USDA認証なしでは「Organic」表記不可	EU認証なしでは「Organic」表記不可	デメター認証なしでは「バイオダイナミック」表記不可	NATRUE認証なしでは「ナチュラル」表記不可	エコサート認証なしでは「オーガニック」表記不可
基準度 (最高1)	6	5	4	1	3	2

AROMAFORIAのはちみつは、全ての基準を横断的にクリア

1

認証期間の商業化

└民間の認証期間が行うため、ビジネスとしての側面が強く、収益を優先し形式的な審査を行う認証期間が存在する。

2

審査の甘さ・形骸化

└一部書類審査が中心で、現地調査を十分に行わないこともある。条件も厳格ではないため、実際に条件を満たしていない製品も認証を取得できてしまう。維持のための定期審査も形式的なものが多い。

3

利益相反の可能性

└認証機関は顧客からの認証費用で運営されているため、厳しい審査を行うと顧客を失うリスクがある。そのため、緩い基準で認証を出し、更新を促すことで収益を確保しようとする機関もある。

4

オーガニック市場の拡大による影響

└市場が拡大するにつれ、「オーガニック認証」がマーケティングツールとして利用されるようになった。「認証を取得しさえすれば消費者に売れる」と考え、認証取得を優先するケースが増えている。

5

規制の不十分さ

└日本の有機JAS制度は法的な規制があるが監査の厳しさにはばらつきがある。海外の認証（USDAオーガニックやEUオーガニックなど）はさらに多くの機関が関与し、認証の質にばらつきが生じている。

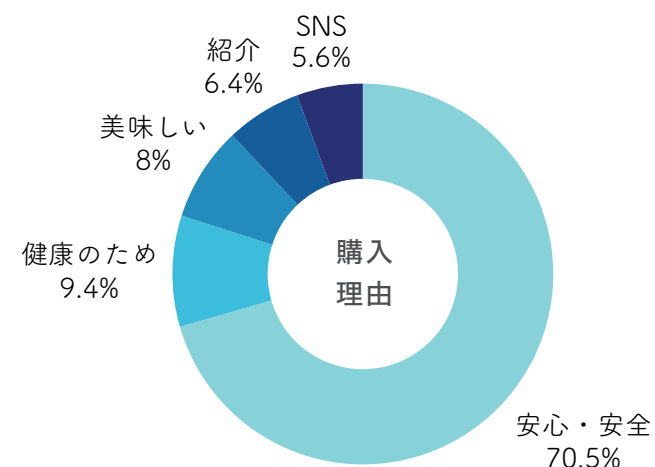
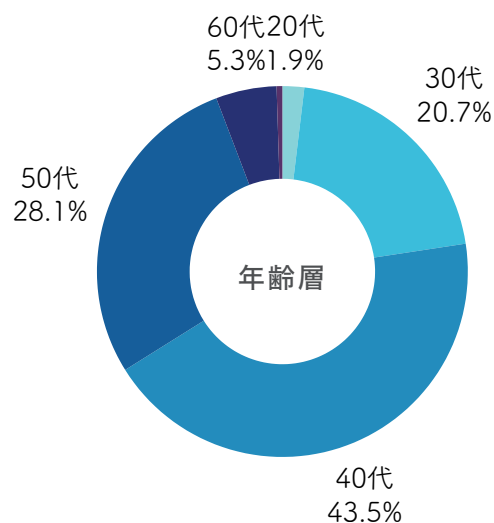
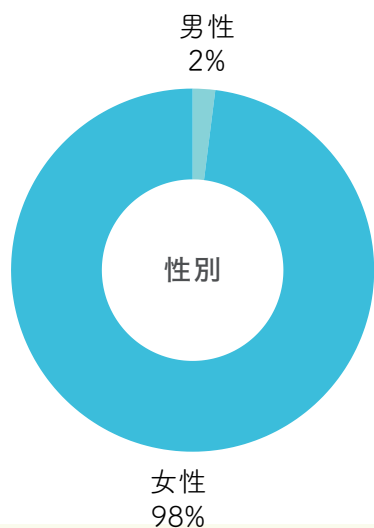
6

国際的な基準とのズレ

└各国の認証の基準には違いがあり、ある国で認証が取れても、別の国では認められないことがある。これにより、「認証は形式的なもので、本質的に安全性や環境配慮とは関係ない」と指摘されることがある

弊社購入者アンケート結果

弊社顧客16,500名に対するアンケート結果（回答数：1,127名）



★性別は**女性**、特に**40代が4割**を占めております。

★これから40代～50代に差し掛かる世代や、50代のご購入者様も多く本格的に健康や美容に力を入れたい女性が多数いらっしゃいます。

★購入理由をみても『安心・安全だから』という理由が**7割**を占めており、安心・安全を理由に購入いただいているお客様は**リピート率も高い**です。

よりクリーンでより安全なはちみつをご提供することをお約束します



40代女性

子どものアレルギーが心配で、市販の蜂蜜が使えなかった。でもAROMAFORIAのはちみつなら安心して食卓に出せるようになった。

肌トラブルが続いていた私にとって、“食べる美容液”という表現がぴったりでした。



30代女性



30代女性

PMSで不安定になっていた毎日に、夜のはちみつひとさじが寄り添ってくれる存在に。

体感として疲れずらくなったり、肌がどんどん健康になっていくのを感じ、本当に感謝しています。



50代女性



30代女性

正直初めはハチミツにこの金額？と買うのを躊躇しました。でも安全性や味の濃さ、実感する効果により今では納得です。

取扱ブランド





熱帯の大自然が育む、力強い生はちみつ。

「自然から分けてもらう」という思想のもと、森と花々の恵みをそのまま届けます。

マレーシアで20,000箱・15年以上の養蜂実績。

経験と設備投資、養蜂家の教育により安定した品質と風味を守っています。

私たちの原点は、「ミツバチに蜜を分けてもらう」養蜂。

無理に採らず、奪わない。

ミツバチを最優先に考える姿勢が、純度と力強さにつながっています。



雄大なオーストラリアの自然が宿る、ピュアで安心なはちみつ。

太古のまま残るユーカリの森。

その清らかな環境が、澄んだ香りと奥行きある味わいを生み出します。

人の手がほとんど入らない貴重な自然の中で、

ミツバチが集めた蜜だからこそ生まれる唯一無二の風味。

さらに西オーストラリア州では、養蜂は州政府の厳格な管理下にあり、

抗生物質ゼロ・外部持ち込み禁止の徹底した保全体制。

自然と制度、両方に守られた安心。

毎日の健康と、家族の食卓にふさわしい一瓶です。

マーケティング戦略

- ・セルフヘルスケア市場

 - ↳健康食品市場

 - ↳リカバリー(休養・抗疲労)市場

販売サポート



セルフヘルスケア市場の規模

●セルフヘルスケア関連国内市場 2023年見込 6兆8,930億円

コロナ禍に、医療機関の受診を控えざるを得なかったことなどで、ちょっとした不調であれば自分自身でケアをする「セルフヘルスケア」の意識が浸透しつつある。また、高齢化や医療の進歩などにより医療費が増加しており、**医療機関での治療からセルフヘルスケアへのシフト**も求められている。

●セルフヘルスケア市場のカテゴリ

- **健康食品・サプリメント**、加工食品、生鮮食品、市販の医薬品など
- **化粧品**、**ヘアケア**、オーラルケア、**健康・美容グッズ**
- **スポーツ運動グッズ**・サービス、**施術**・美容サービス
- **睡眠グッズ**、入浴サービス・グッズ
- **一般用医薬品**・**医薬部外品**
- 生活用品
- 機器・その他用品

はちみつは様々なニーズやカテゴリで付加価値を提供できる万能なスーパーフードです。

※医薬品や医薬部外品のカテゴリに関しては薬機法に抵触する恐れがあるので注意が必要です。

●カテゴリ別の内訳（市場規模）

第1位：肌ケア（美容・スキンケア）

└1兆円超の規模で最大のセグメント。肌の健康維持や美容ニーズにより大きな市場を形成。

第2位：疲労回復

└1兆円超のセグメント。マッサージや温浴、サプリメントなど疲労を癒やすサービス・商品の需要が高い。

第3位：ダイエット（減量・体重管理）

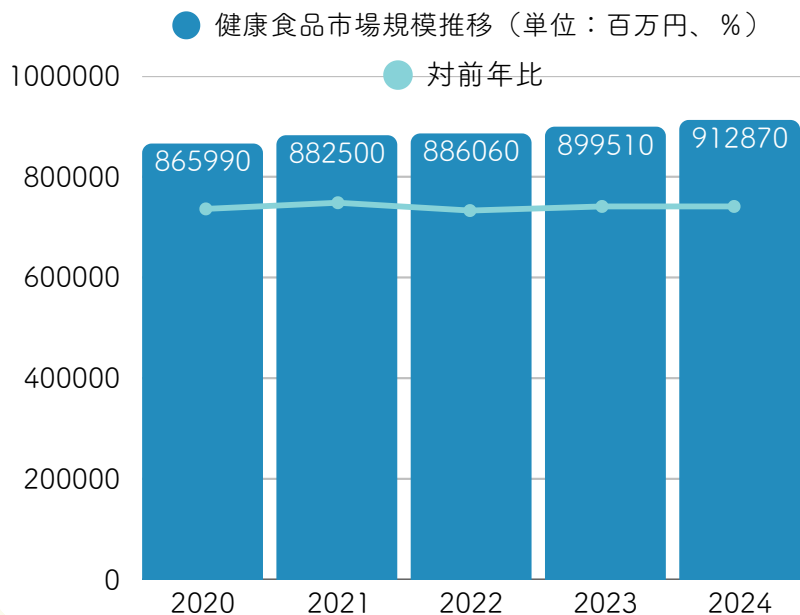
└数千億円規模と推定されるセグメント。減量サポート食品やフィットネス関連商品などが該当。

第4位：生活習慣病対策

└数千億円規模と推定されるセグメント。血圧血糖ケアや予防医療的なサプリメント、運動器具等が含まれる。

第5位：栄養補給

└日々の栄養バランス改善や不足栄養素の補給を目的とした健康食品・ドリンクが対象。



健康食品市場は**9,000億円規模**に達し、2020年以降も微増ながら5%の成長を続けている。その背景には、コロナ禍を契機とした新しい生活様式の定着により、**ストレスや睡眠問題、運動不足による肥満**対策へのニーズが高まったことが挙げられる。

さらに、健康管理の視点が「**病気の有無**」だけでなく、心身や社会的な側面を含めた**ウェルネスの向上**へとシフトしていることも市場拡大の要因。**インナービューティ**として化粧品メーカーの参入も活発化しており、美容の観点からも注目度が高い。

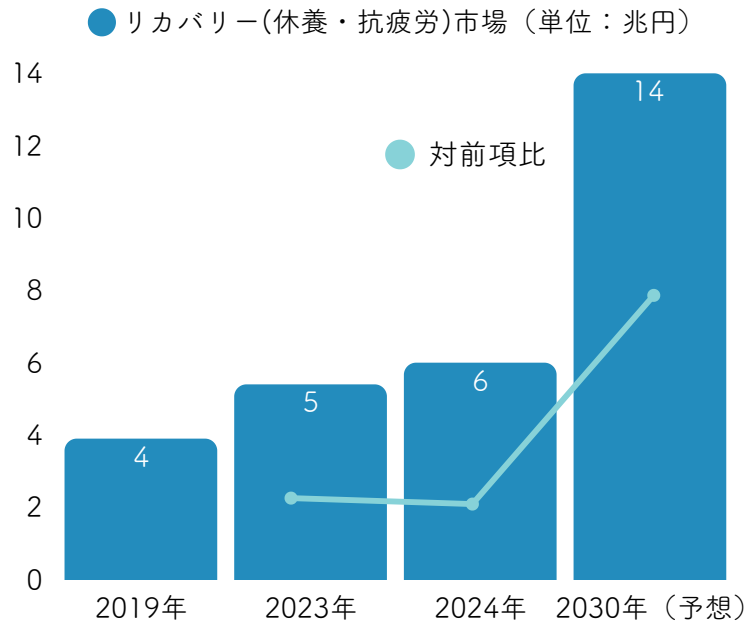
また、女性のライフステージに伴う身体や心の変化をサポートする広範なカテゴリーである**フェムテック市場**も活性化。セルフケア志向でタブー視されてきた領域も、隠さず話せる社会へ変化してきたことにより今後は対応を求められる可能性が高い。

**健康志向が高まる中、ウェルネス視点の付加価値が重要。
「身体・肌・メンタル」を含む本質的な健康への関心が拡大し、
美容食品としての対応も求められている。**

★はちみつは、ウェルネス視点で最良の選択

- ・ブドウ糖と果糖のコンビネーションによるエネルギー補給やリラックス効果は「**メンタルケア**」に役立ち、美容成分や純粋な単糖の摂取により「**肌**」の健康をサポート。さらに、糖代謝を促進し、健康的な体づくりを助けることで「**身体**」にも貢献します。
- ・また、はちみつに含まれる果糖には食欲を促進させるホルモンの反応を低下させ、食欲を抑制するホルモンの反応を高めるため、ダイエット市場にも訴求できます。

リカバリー(休養・抗疲労)市場



信用		東証G 13:49		業績 -		PER	PBR	利回り	信用倍率
325A TENTIAL	★	2,100円	前日比 +194 (+10.18%)	業績 -	繊維製品	29.1倍	6.85倍	—%	一倍
PTS	2,129.9円	13:11	04/10	単位 100株		時価総額		157億円	
業績・財務推移【実績】									
前期【実績】		1Q	2Q	3Q	4Q				
決算期	売上高	営業益	経常益	最終益	修正1株益	修正1株配	発表日		
2023.01*	2,033	39	38	-12	-2.2	0	—		
2024.01*	5,409	473	477	506	76.6	0	—		
2025.01*	12,837	1,452	1,438	1,061	160.1	0	25/03/17		
前年比	2.4倍	3.1倍	3.0倍	2.1倍	2.1倍		(%)		

リカバリー市場は2019年から順調に拡大を続けており、2030年には現在規模の約2.5～2.6倍に達すると見込まれています。「BAKUNE」で有名な、TENTIALはコロナ禍明けから**2年間で6倍の売上高**をマークしており、消費者の関心の高まりが見える。特に食関連の需要が市場を牽引しており、旭化成がヘルスケア分野で3年間1兆円の投資見込が発表されているように、企業による健康投資も拡大傾向にあることが成長を後押ししています。「休養・抗疲労」の重要性に対する社会的リテラシーも向上しており、セルフヘルスケア市場においても重要視されるカテゴリである。

★はちみつは、リカバリー市場にも訴求できる。

- ・疲れやストレスで眠れない人は、セロトニン（必須アミノ酸）という物質を取り入れます。ハチミツに含まれるブドウ糖がセロトニンの分泌を促し吸収を助けてくれ、睡眠の質を高めます。
- ・また、運動前後に糖が不足すると筋肉や脂肪、骨を分解して糖を確保しようとしてしまいます。はちみつは即エネルギーになるので、筋トレで筋肉がつかない、スタミナが切れる、疲労回復に効果的です。

1

運動前に

↳糖が不足すると筋肉や脂肪、骨を分解して糖を確保しようとしてしまいます。はちみつは即体のエネルギーになるので、筋トレで筋肉がつかない、スタミナが切れる、疲労回復に効果的です。

2

ダイエットに

↳果糖には食欲を促進させるホルモンの反応を低下させ、食欲を抑制するホルモンの反応を高めます。

3

睡眠前に

↳疲れやストレスで眠れない人は、セロトニン（必須アミノ酸）という物質を取り入れます。
ハチミツに含まれるブドウ糖がセロトニンの分泌を促し吸収を助けてくれ、睡眠の質を高めます。

4

美肌効果や爪、髪の毛のハリやツヤに

↳ハチミツにはビタミンCやビタミンB2,B6,ポリフェノールなどが含まれます。
体の中から肌の再生が進められ、美肌効果を発揮できるようになります。強い保湿効果もあり、とくにビタミンB2が皮膚を整えたり、代謝を良くします。糖による代謝が上がることにより、爪や髪の毛のハリやツヤにも効果的。

5

日焼けに

↳紫外線によって肌組織にダメージを受けると炎症が起きシミの原因になるメラニンの働きが活発に。
生のハチミツ成分には消炎作用、コラーゲン生成、メラニン増加の抑制作用が期待できます。

市場トレンドキーワード

美容／フェムケア

抗疲労／免疫ケア

睡眠／休養



はちみつのアプローチ

PMSケア、腸活、インナービューティ

抗酸化・抗炎症ブレンド、朝の新習慣

ナイトハニー、温活ドリンク



「フェムケア・疲労美容」×はちみつ＝女性向けリカバリースイート

↳スリープテック・フェムテック市場の拡大と共に、「内側から整える美容食品」の需要が拡大する中、はちみつは「腸活」「美肌」「PMSケア」など、感情と身体を同時に癒す自然素材として価値が高い。

★提案商品：PMSケアはちみつ → ラズベリーリーフやザクロ、月見草オイルなどとの機能的ブレンド
美肌リカバリーボール：ドライフルーツやナッツ+はちみつを固めたスナック（砂糖不使用）



「セルフメディケーション」×はちみつ＝未病対策・免疫サポート

↳生活習慣病予防や免疫サポートがキーワード。はちみつは古来より自然由来の「抗菌・抗炎症・抗酸化」素材として重宝されてきた特に、マヌカハニーや高ポリフェノール含有ハニーなどは、高単価帯でも人気。

★提案商品：毎朝1スプーン免疫習慣 → プロポリスやローヤルゼリーをブレンドした“薬膳風”はちみつ
機能性表示食品を視野に入れた共同開発：GABAやラクトフェリン等との配合で新領域へ



「抗疲労・休養」市場 ×はちみつ＝ナイトリカバリーの定番

↳睡眠や疲労回復に関連した食品・飲料への需要が高まっており、“夜専用プロダクト”が人気傾向はちみつにはグルコン酸、GABA前駆体、トリプトファンなど、快眠をサポートする栄養素が含まれる。

★提案商品：ナイトハニー → ラベンダーやカモミールを配合した寝る前用のブレンドはちみつ
快眠×温活ドリンク：はちみつ+生姜+アミノ酸で、ホットで飲めるパウチタイプ

1

商品ラインナップの強化

↳完全オーガニック食品（はちみつ）、グルテンフリー食品、ベジタリアン・ヴィーガン向け食品等、多様な健康食品を取り揃えることで、幅広い消費者ニーズに対応します。

2

プロモーション活動

↳完全オーガニック食品（はちみつ）のメリットを強調するプロモーションを実施します。店内ポスターやチラシ、SNSを活用した情報発信により、認知度を高めます。

3

試食・体験イベントの開催

↳消費者が実際に商品を試す機会を提供することで、健康食品への興味を引き出し、購買意欲を高めます。

4

専門スタッフの配置

↳はちみつに関する知識を持つ専門スタッフを配置し、消費者へのアドバイスや情報提供を行います。信頼性の高い情報を提供することで、消費者の購買意欲を促進します。

5

商品の関連性

↳蜂蜜＋紅茶：蜂蜜を紅茶の隣に配置し、蜂蜜ティーの提案を行います。
蜂蜜＋ナッツ：ナッツやシリアルと一緒に陳列し健康的なスナックの提案を行います。
夏の健康フェア：蜂蜜を使用した爽やかなドリンクやスムージーの材料をセット提供
冬の温かみセット：蜂蜜とハーブティー、シナモンスティックをセットにし、冬の温かい飲み物の提案を行う。
ギフトセット：季節毎のイベントに向けたギフトセットとして、ジャム、クラッカーを組み合わせる。

1

売上増加

↳ 新たな顧客層を取り込むことができ、売上増加に寄与します。健康志向の高い消費者は、高付加価値商品に対しても抵抗なく支出する傾向があります。

2

顧客満足度の向上

↳ 消費者の健康志向が高まる中、消費者が必要とする商品を提供することで、顧客ロイヤルティが向上し、リピート購入の増加が期待できます。

3

ブランドイメージの向上

↳ 完全オーガニック食品（はちみつ）の取り扱いは、健康志向や環境意識の高い企業としての認知度が高まり、他の競合店との差別化が図れます。

4

市場シェアの拡大

↳ 健康食品市場は成長分野であり早期に導入することで市場シェア拡大が見込まれます。オーガニック製品や健康機能を持つ商品は、消費者の注目を集めやすいです。

5

新たな顧客層の獲得

↳ 完全オーガニック食品（はちみつ）の導入により、これまでスーパーマーケットを訪れなかった健康志向の強い消費者層を取り込むことができます。この新たな顧客層は、他の商品やサービスのクロスセルにつながる可能性も高いです。

6

長期的な利益向上

↳ 完全オーガニック食品（はちみつ）の取扱いは、短期的な売上増加だけでなく、長期的な利益向上にも寄与します。健康食品は一般的に高価格帯の商品が多く、高利益率を確保しやすいため、御社の収益基盤を強化することができます。

健康商品や美容を取り扱いに最適。

オリジナルのはちみつ商品の販売が可能です。

パッケージをオリジナルラベルに変更し、自社ブランドの商品として販売可能です。
希望の素材をブレンドした完全オリジナルの製造も可能ですのでお気軽にご相談下さい。



オリジナル商品や、原料のみの仕入れ、小ロット、小リスクで自社ブランド企画を承ります。
コンセプト、原料、処方、包装、資材、商品形状、ご予算等をお聞かせ下さい。

安心・安全で完全オーガニックはちみつを取り扱ってきたノウハウを活かし
企画・開発から製造までトータルにサポートいたします。



- 会社名 : 株式会社 AROMAFORIA JAPAN
- 設立 : 2024年4月
- CEO : 有馬 護郎
- 従業員 : 10名
- 住所 : 福岡市中央区大名1-4-35-901
- HP : <https://www.aromaforia.jp/>
- アドレス : info.japan@aromaforia.com
- 電話番号 : 092-762-5335



はちみつの輸入・卸・販売



養蜂家への支援・品質管理



はちみつに関する情報発信

シンガポールに本社、AROMAFORIA Pte Ltdを構え創始2016年から、
高品質な天然はちみつを蜂蜜療法協会の会員様やハニーセラピスト様向けに
小売/卸売業を展開してまいりました。

日本国内で広く認知されるブランドへと成長するため、
日本支社として設立されたのが、AROMAFORIA JAPANです。